



芸術文化振興基金

府中の森  
芸術劇場

# 能狂言

解説・字幕(日本語・英語)付き



## 出演

解説：葛西聖司

狂言：野村萬斎(朝の部)、野村万作(人間国宝(昼の部))

能：観世喜正(朝の部)、中森貫太(昼の部) ほか

質疑応答：中森貫太

## 演目

解説：思惑の隔たり、愛憎と欲と(約30分)

狂言：隠狸(かくしだぬき)

能：船辨慶(ふなべんけい)



野村万作



野村萬斎



観世喜正



中森貫太



葛西聖司

# 2021年1月16日(土)

## 午前10時／午後2時開演 (朝昼2回公演) 府中の森芸術劇場 ふるさとホール

東京都府中市浅間町1-2 京王線東府中駅北口下車徒歩約7分

**全席指定 4,500円**  府中の森芸術劇場メンバーズ会員割引対象公演  
※小学校入学前のお子様のお入場はご遠慮ください。

※ご来場の際は、当劇場が定める各種感染症対策へのご協力をお願いします。

**チケット発売日** 府中の森芸術劇場メンバーズ会員:11/7(土)電話・net 予約開始  
一般:11/14(土)電話・net 予約開始 ※予約開始日は店頭での販売はありません

**チケットふちゅう** 042-333-9999 (受付 10:00~18:00 ※劇場休館日は休業)

チケふnet.(パソコン・スマホ)  
※24時間受付 予約開始日は10:00~

チケふnet.

検索



**チケットぴあ** 0570-02-9999 ▶<http://pia.jp/t> [Pコード:503-427]  
(音声自動応答受付24時間、発売初日は10:00~、システムメンテナンスのため火・水2:30~5:30は受付休止)



交通 ■新宿から京王線で約25分、東府中駅北口下車徒歩約7分  
■JR中央線武蔵小金井駅から  
●東府中駅行きバス(東府中駅下車徒歩約7分)  
●府中駅行きバス(一本木経由)第二小学校前下車徒歩約9分  
●南口からタクシーで約15分

※ご来場の際は電車・バスをご利用ください。

主催：公益財団法人府中文化振興財団 府中の森芸術劇場  
<http://www.fuchu-cpf.or.jp/theater/>

お申込みお問い合わせ



# 能・狂言

あらすじ

## 狂言 隠狸

かくしだぬき

太郎冠者（シテ）が内緒で狸を捕っていると、主人は問いただが、太郎冠者はしらを切る。そこで主人は、市場で狸を買ってくるよう命じる。  
太郎冠者は昨日捕えた狸を市で売ろうとするが、様子を窺って来た主人に見つかる。  
狸を隠してとりつこうと太郎冠者だが、主人に酒をすすめられ、興に乗って舞を舞ううちに、主人に狸をとりあげられる。

## 能 船辨慶

ふなべんけい

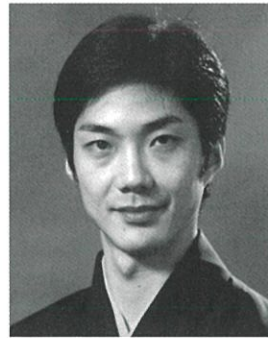
平家全滅の立役者源義経は、梶原景時の讒言により、兄頼朝に疎まれ、自ら都を去って西国に落ちようとする。大物浦で愛妾静と惜しき別れを告げる。（中入）  
船出した一行は、俄の大荒れの中、平家一門の亡霊が現れ、中でも平知盛の怨霊が襲いかかるが、弁慶の必死の祈禱に辛くも虎口を逃れる。  
義経役の子方の可愛らしさに、前場の静の哀切な舞と、間狂言の船頭の大車輪の活躍、後場の豪快な戦いと、盛り沢山の見せ場があります。  
シテは、二場形式で、静と知盛という全く異なった人物を演じ分けます。「作り物」の船にもご期待ください。わかりやすい能です。



### 野村万作 のむら まんさく

1931年6月22日生 B型 東京都出身。重要無形文化財各個指定保持者（人間国宝）。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。

軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞。その他、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞等、多数の受賞歴を持つ。02年早稲田大学芸術功労者として表彰を受ける。06年朝日賞受賞。『月に憑かれたピエロ』『子午線の祀り』『秋江』『法螺侍』『敦一山月記・名人伝一』等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。後進の指導にも定評がある。



### 野村萬斎 のむら まんさい

1966年4月5日生 B型 東京都出身。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。

国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台『敦一山月記・名人伝一』『国盗人』など古典の技法を駆使した作品の演出、NHK『にほんごであそぼ』に出演するなど幅広く活躍。各分野で非凡さを発揮し、狂言の認知度向上に大きく貢献。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通し狂言の在り方を問うている。1994年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞等を受賞。2002年より世田谷パブリックシアター芸術監督。



### 観世喜正 かんぜ よしまさ

1970年東京生まれ。慶応大学法学部卒業。父・観世喜之に師事。

東京を中心に、全国の公演、海外公演に多数出演。普及活動や講演も多く行う。

また謡曲のCD化、能公演のDVD作成など能楽教材のソフト化にも積極的に取り組み、札幌から長崎まで国内十数か所で指導に当たる。2000年より始めた「のうの講座」は、解説のみならず体験教室、異種共演など多角的アプローチで能と日本文化の紹介・普及に取り組む。著書「演目別に見る能装束」（淡交社）



### 中森貫太 なかもり かんた

1961年2月生まれ。神奈川県在住。観世流シテ方。（社）日本能楽会会員（重要無形文化財総合指定）。（社）能楽協会会員。（公財）鎌倉能舞台理事。東京芸術大学音楽部邦楽科別科修了。鎌倉能舞台創設者の中森晶三の長男。（社）観世九皋会会員（観世喜之氏に師事）。鎌倉ロータリークラブ会員。慶應義塾湘南藤沢中学高等学校講師。朝日カルチャーセンター湘南講師（観世流謡曲・仕舞）。読売文化センター横浜講師（観世流謡曲・仕舞）。



### 葛西聖司 かせい せいじ（解説）

アナウンサー。古典芸能解説者。中央大学法学部卒。NHKエグゼクティブアナウンサーの経験を生かし、能や歌舞伎など古典芸能の解説や講演、執筆活動を行う。日本演劇協会会員、大学講師、NHK文化センター講師。著書に『能楽史事件簿』『能狂言なんでも質問箱』（いずれも共著）など。